

2023年8月11日～8月12日 尾瀬 笠科川大赤沢

メンバー：L石原、村中、結城（会員外）

夏合宿ということで尾瀬の沢へ行ってきました。沢泊り初めてとなる村中さんに合わせて短い初心者向けのルートです。

初日は9時過ぎの入渓、所々できれいなメもありませんが、沢としてはそれほど見どころもなく、ところどころ硫黄臭も感じたりで釣りも期待できず。移動時間も含めて考えると初心者の泊まり体験でなければ価値を見いだせないというのが正直なところ。

唯一の登攀は幕営地手前の7m滝、水流際を登るなら後続のためにロープ出してあげたほうがよいと感じましたが、右の乾いた方に逃げればフリーでも充分かと。

幕営地は1495m 二俣の手前、そこより上流も何箇所か張れる場所がありました。

夜は心配された夕立もなく焚き火も楽しめました。

翌日は早く崩れる可能性を考慮して予定を早めて出発。幕営地以降もやはり見どころは少なく。稜線のかなり手前から沢にヤブがせり出していきます。最後の20分は背丈ほどの根曲がりをかき分けて進むことになりました。村中さんには良い経験だったかと。

詰め上げはアヤマ平手前の鞍部、尾瀬らしい湿原はさすがの景観でこれもふくめて評価すればまずまずなルート。装備解除後、軽身でアヤマ平まで、至仏山、燧ヶ岳もよく見えました。下山は鳩待峠まで1時間強、そこから駐車地までタクシーは途中下車させてくれないので車道歩きで小一時間でした。

【コースタイム/天候】

8/11 晴/曇

津奈木橋先の路肩/8：20～大赤沢入渓/9：10～11：30/7m滝～1495m 二俣手前/12：40

8/12 晴

幕営地/6：15～9：40/1950m 鞍部（装備解除後、アヤマ平往復）/10：15～11：30/鳩待峠/12：00～駐車地/12：50

【村中感想】

黒茂沢に続き2回目の沢登り、そして初めての泊まりの沢です。振り返ってみると、よい「夏の思い出」の沢になりました。

登っているときの印象は、景色のハイライトは乏しい、上部に木々が張り出して暗い、そして沢の上部はヤブが深い。が、この沢は徐々に心と身体に滲みてきました。

ヤブを抜けると尾瀬の開けた池塘の景色。行動距離自体はそれほど長くなかったですが、

藪こぎによる上肢への負荷、バランスをとるために体幹にも力が入っていたようで、下山後はほどよい全身の筋肉痛を味わえました。

帰ってから写真を見ると結構良い景色で、高い滝もいくつかあったことに改めて気づきました。沢登り中は足下ばかりを見ていたし、滝に出会ってもそれをどのように乗り越えるかに集中して、景色を楽しむ余裕がなかったのかもしれませんが。

写真と筋肉痛とともに夏の思い出をしばらく堪能できました。藪こぎ好きにはたまらない沢でした。

